－ろ号－

よかっぺ好間

平成20年10月20日発行

編集発行／好間ふるさと振興協議会会報編集委員会
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間字中川原29番地の1
いわき市好間支所内　TEL 0246-36-2221（代表）
http://www.yoshima.jp/

地区紹介コーナー

北二区行政区

篠原区長さん

【地区の紹介】

当地区は明治、大正、昭和と石炭の産出する所として栄えましたが、エネルギー革命の中で昭和35年に炭砿が閉山し、街が衰退するとともに市街化調整区域でもあることから過疎化が進み、荒地がそこかしこに見える様になりました。しかし国道49号線に接し、常磐道にも近いので交通の便が良く将来性のある地域です。

北好間岳下区

沖間区長さん

【地区の紹介】

北好間岳下区は赤井岳の下に位置し、国道49号線を挟んで南北に分かれていて、山に囲まれた和かな地域です。

また、下ヶ屋敷地区には通称「七曲り」とよばれる赤井岳への昔からの参道があり、「お山に歩け歩け」運動では毎年たくさんの人が「七曲り」から赤井岳を目指します。

平成20年度事業予定

日程	事業名	場所
10月	会報発行	
10月～12月	ふるさと案内人養成講座開設	好間公民館
2月	地区新年会	好間公民館
	地域づくり講演会	好間公民館
3月	まちづくり文化講演会	好間公民館
	会報発行	

＜知ってっかい？地名の謂（いわ）れ＞

◎五ノ神（コノカミ）（川中子）

川中子の夏井川添い。神名は不詳だが、古くは、五神を祀っていた聖地とみられていた。

◎腰巻（コシマキ）（小谷作）

弾正作（ダンジョウサク）の近くで右代の横穴が3墓ある。前は入道田と称する田があり、すぐ北側に作の山が続く。あたかも腰巻状に取り囲まれているところから地名化した。

◎法師ケ崎（ホウシガサキ）（愛谷）

古代、中世にかけて偉い僧がこの地にとどまり仏教の修行をしていたと云う。この修行僧を土地の人々は法師様と呼んで敬っていた。法師様は愛谷・小谷作の嶺から突き出た東端に住んでいたので地名化したもの。（山の崎一出っ張りの地）

料理教室

★豆腐だんごのスープ★

（好間レディース料理教室　鈴木恵子先生）

＜材料＞ 6人分

スープ	6カップ	下味		
もめん豆腐	1丁		砂糖	少さじ1
豚ひき肉（とり肉）	100g		化学調味料	少々
ほうれん草	1/3たば		塩	大さじ1/3
春雨	30g		片栗粉	大さじ1.5～2

＜作り方＞

（下ごしらえ）

☆スープ　丁寧にするならトリガラ等で時間をかけてとり、簡単にするなら固形スープを煮溶かし、生姜の薄切り1枚、ねぎ少々を加えて、風味をつけ、ひきあけておく。

☆豆腐　ふきんに包み、上に皿などをのせて、押しをし、さらにふきんの口を絞って豆腐をつぶし水気を絞る。

☆豚ひき肉　まな板の上で包丁でたたき、きめ細かくしておく。

☆ほうれん草　きれいに洗い、3～4センチに切って使う。

☆春雨　長さ2つくらいにはさみで切り、水につけてもどす。

①つぶした豆腐とひき肉はボールに合わせ、下味の調味料を加えて、手でまんべんなく、よく混ぜ合わせておく。
②分量のスープを火にかけて煮立て具をスプーンですくってスープの中に静かに落とし入れていく。
③②の豆腐だんごが煮えたら春雨も加えて、ひと煮し味を整える。
④仕上げに水気を切ったほうれん草を散らし入れて火を止め、ふたをして少し蒸らす。

会員募集

好間ふるさと振興協議会では、会員を募集しています。
あなたも会員になって好間のまちづくりに参加してみませんか。
年会費は、個人会員が1口500円、団体会員が1口3,000円、
企業会員が1口3,000円となっております。
会の詳しい内容はホームページ「よかっぺ好間」をご覧下さい。

学校紹介コーナー

好間第一小学校（☎36-2202）

今年も元気なピカピカの一年生（53名）が好間一小に仲間入りしました。「どうぞよろしくおねがいします！」

【平成20年度行事予定】

◆学習発表会
11月1日(土)

◆学校へ行こう週間による授業参観日
11月5日(水)～7日(金)

◆豆まき集会
2月3日(火)

◆お楽しみ集会
2月18日(水)

好間第四小学校（☎36-2805）

6月17日(火)講師の指導のもと縦割りチームにより、いろいろなゲームに楽しく取り組みました。

【平成20年度行事予定】

◆学習発表会・収穫祭
11月1日(土)

◆昔からの遊び
11月5日(水)

◆民話に親しむ
11月7日(金)

◆ものづくり教室
12月12日(金)

好間第二小学校（☎36-2549）

7月4日の授業参観日に親子で「救急救命講習会」を受けました。

【平成20年度行事予定】

◆学習発表会、PTAバザー
10月18日(土)

◆学校へ行こう週間
11月4日(火)～7日(金)

◆持久走大会
11月27日(木)

◆縄跳び大会週間
2月16日(月)～20日(金)

好間中学校（☎36-2204）

5月17日(土)の体育祭の様子です。個人・団体種目などクラスの優勝目指し、力を合わせて頑張りました。

【平成20年度行事予定】

◆スポーツ大会
10月1日(水)

◆菊竹祭
10月26日(日)

◆三年生を送る会
2月26日(月)

◆卒業式
3月13日(金)

好間第三小学校（☎36-2205）

8月20日、これまで年2回クリーン作戦時に実施してきた国道の清掃活動に対し、国土交通省より国道愛護に係る大臣表彰を受けました。

【平成20年度行事予定】

◆学校公開
10月～2月（毎月3日）

◆ながよし集会
11月

◆小学生と遊ぼう
11月

◆給食会食会
11月

好間高等学校（☎36-2203）

4月27日にモンテ弦楽四重奏団によるファミリーコンサートが開かれ、生徒・保護者約600人がクラッシック音楽を楽しみました。

【平成20年度行事予定】

◆インターンシップ（1年生）
10月15日(水)～17日(金)

◆修学旅行
10月21日(火)～24日(金)

◆公開研究授業
11月6日(木)

◆ミニ文化祭（校内文化祭）
11月14日(金)

よしまの民話

独古（どうこ）の井（い）

むかし、むかし、今から千二百年程前のことだが、ある日、旅のお坊さんが好間にやって来て、一軒の見晴らしの良い農家の前まで来たところ、今まで歩き続けてきたので喉（のど）がかわいて、その家に立ち寄ったそうな。

坊さんは「旅の僧ですが、どうにも喉（のど）がかわいて困っているので、すまないが水を一杯下さらんか。」と、言ったそうだ。家の中で機織（はたお）りをしていた気の優しい年老いたお婆さんは、「それはそれは、難儀（なんぎ）なこったなし、家の井戸の水はうまくねえだで、一寸（ちょっと）くら休んでいてくだされ、うまーい水を汲（く）んでくっから。」といって、向かいの山岸の岸（きし）っていうところさ、手桶（ておけ）を持って水を汲みに行ったど。

そこにはむかしからうまい湧水（わきみず）がこんこんと湧き出ていたそうな。

「よっくらしょ」と手桶に一杯その水を汲んで、やっと家まで戻ったど。

婆さんは急いでその湧水を旅のお坊さんに差し上げたところ、「これはうまい。」とほめて飲み、婆さんに感謝の礼を、深々としたそうだ。

坊さんは婆さんに、「向かいの遠いところまで、水汲みに行くのは大儀だから、汲んでくれた水の御礼に、私がこの家の裏に、清水の湧き出す井戸を掘って上げよう。」と言って、手に持っていた金でできている「独鈷（どっこ）」（独古）で、家の裏山のがけを突いたところ、そこから枯れることのない、それはそれはきれいな水が湧き出してきた。それからは、この家では水の苦労から救われたんだど。

このお坊さんは、都の偉い坊さんで、なんでも弘法大師（こうぼうだいし）様と言う人だどが。

今でもこの井戸を、「独古の井」と言って水が湧き出しており、婆さんの住んでた所は『独（どっ）古内（こうち）』っていう地名になったんだど。

好間の民話集より